



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 康史 TEL 03(3663)3111  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月6日 配当支払開始予定日 2018年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	51,020	△2.7	1,621	△54.8	4,971	△38.6	3,143	△41.0
2018年3月期第2四半期	52,409	2.3	3,591	60.9	8,090	39.5	5,324	46.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,120百万円 (△46.8%) 2018年3月期第2四半期 5,871百万円 (74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	117.71	—
2018年3月期第2四半期	199.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	126,562	91,356	66.1	3,133.06
2018年3月期	131,852	89,871	62.4	3,083.61

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 83,659百万円 2018年3月期 82,340百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2019年3月期	—	55.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△0.3	4,700	△26.0	12,000	△11.8	7,600	△8.6	284.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	28,333,480株	2018年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,631,305株	2018年3月期	1,630,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	26,702,437株	2018年3月期2Q	26,703,096株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境を背景に、回復基調が持続していますが、米国の保護主義姿勢の強まり等により依然として先行き不透明な状況が続いています。一方、個人消費については、地震や台風等自然災害の影響や、将来不安を背景とした節約志向により、力強さに欠ける状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは既存事業の収益力強化を図りつつ、成長分野へ経営資源の再配分を進めることにより、堅固な事業基盤を確保すべく、各施策の実行に鋭意取り組みました。

## (砂糖事業)

海外粗糖相場は、期初は12セント前半でスタートしたのち、世界的な需給緩和観測の拡大を受け、一時10セント台まで下落しました。5月末にかけて12セント後半まで値を戻したものの、ブラジルの順調な生産状況や通貨安による輸出環境好転が弱材料となり、8月後半には、10年振りとなる9セント台に達しました。その後、投機資金の流入により、一時11セント後半まで上昇しましたが、軟調気配は依然として変わらず、10セント半ばで期末を迎えました。

一方、生産・販売面では、国際原油価格の高騰による製造変動費や物流費、安定操業のための設備更新による減価償却費等の製造固定費のコストが上昇しました。また、海外粗糖相場の下落を受け、7月下旬に出荷価格の引き下げを実施しました。西日本豪雨の影響により関西・中四国地区の出荷は低調に推移し、9月の台風21号では神戸工場が被害を受ける等、甚大ではないものの、その影響は免れず、結果的に当期の販売量は前年同期を下回りましたが、販売費、一般管理費の削減に努め、営業利益は計画通りの結果となりました。

連結子会社では、生和糖業(株)において原料サトウキビの記録的な低糖度の影響が生じた他、北海道糖業(株)では燃料価格の上昇によるコスト高等を受け、減収減益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体では、売上高40,393百万円、営業利益793百万円で、販売費、一般管理費削減の効果もあり、概ね期初計画通りの推移となりました。

## 期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値189円～190円 高値189円～190円 安値187円～188円 終値187円～188円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 12.33セント 高値 12.97セント 安値 9.83セント 終値 10.42セント

## (フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業は、パラチノース、パラチニットの販売は好調に推移しましたが、パラチノースの仕入単価上昇等により営業利益は前年同期を下回りました。

連結子会社では、ニュートリー(株)が前期に譲り受けた事業の売上減少の他、人件費の増加もあり減収減益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体では、売上高9,701百万円、営業利益370百万円となりました。

## (不動産事業)

不動産事業は、契約更新を迎えた物件の賃料収入減等により売上高は前年同期を下回りましたが、既存賃貸物件に係る修繕工事や減価償却費の減少等により営業利益は前年同期を上回り、売上高925百万円、営業利益457百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は51,020百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は1,621百万円（前年同期比54.8%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー3,934百万円がありましたが、タイ事業を主因とする持分法による投資損失485百万円を計上したこと等から、経常利益4,971百万円（前年同期比38.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,143百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5,290百万円減少し126,562百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

## ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比9,062百万円減少し50,967百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少840百万円、商品及び製品の減少7,152百万円、原材料及び貯蔵品の減少491百万円、仕掛品の減少375百万円等があったことによるものであります。

## ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比3,772百万円増加し75,594百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の増加433百万円、機械装置及び運搬具の増加528百万円、建設仮勘定の増加914百万円、投資有価証券の増加2,154百万円等があったことによるものであります。

## ③負債

負債は、前連結会計年度末比6,775百万円減少し35,205百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少1,010百万円、借入金の減少3,574百万円、未払法人税等の減少1,266百万円等があったことによるものであります。

## ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,484百万円増加し91,356百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益3,143百万円、剰余金の配当1,602百万円等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月14日に公表の通りであり変更はありません。なお、SIS' 88 Pte Ltdを2019年3月期第3四半期より連結の範囲に含める予定としておりますが、当連結範囲の変更による損益への影響は軽微です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,069	24,228
受取手形及び売掛金	8,976	8,955
商品及び製品	16,243	9,091
仕掛品	1,759	1,384
原材料及び貯蔵品	6,336	5,844
その他	1,646	1,463
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	60,030	50,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,487	38,314
減価償却累計額	△22,959	△23,352
建物及び構築物(純額)	14,527	14,961
機械装置及び運搬具	78,149	79,435
減価償却累計額	△62,544	△63,301
機械装置及び運搬具(純額)	15,605	16,134
工具、器具及び備品	2,452	2,572
減価償却累計額	△2,077	△2,086
工具、器具及び備品(純額)	375	486
土地	18,436	18,436
リース資産	908	912
減価償却累計額	△401	△443
リース資産(純額)	507	469
建設仮勘定	1,661	2,576
有形固定資産合計	51,114	53,065
無形固定資産		
のれん	1,221	1,046
その他	678	595
無形固定資産合計	1,899	1,642
投資その他の資産		
投資有価証券	10,911	13,065
長期貸付金	29	26
退職給付に係る資産	466	595
繰延税金資産	974	917
その他	6,486	6,342
貸倒引当金	△59	△60
投資その他の資産合計	18,808	20,886
固定資産合計	71,822	75,594
資産合計	131,852	126,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,547	6,537
短期借入金	3,200	200
1年内返済予定の長期借入金	1,134	1,120
リース債務	96	97
未払費用	3,183	2,916
未払法人税等	2,985	1,718
役員賞与引当金	71	30
その他	4,990	4,341
流動負債合計	23,209	16,963
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,070	1,510
リース債務	439	396
繰延税金負債	1,415	1,452
役員退職慰労引当金	233	251
退職給付に係る負債	2,812	2,827
資産除去債務	396	430
その他	1,403	1,373
固定負債合計	18,771	18,242
負債合計	41,981	35,205
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	75,366	76,907
自己株式	△2,907	△2,909
株主資本合計	80,833	82,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	896	907
繰延ヘッジ損益	—	21
為替換算調整勘定	347	100
退職給付に係る調整累計額	263	257
その他の包括利益累計額合計	1,507	1,287
非支配株主持分	7,530	7,696
純資産合計	89,871	91,356
負債純資産合計	131,852	126,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	52,409	51,020
売上原価	39,449	39,678
売上総利益	12,960	11,342
販売費及び一般管理費		
配送費	2,261	2,477
役員賞与引当金繰入額	33	30
退職給付費用	96	93
その他	6,978	7,119
販売費及び一般管理費合計	9,369	9,720
営業利益	3,591	1,621
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	98	48
受取ロイヤリティー	3,699	3,934
持分法による投資利益	791	—
雑収入	120	119
営業外収益合計	4,710	4,103
営業外費用		
支払利息	37	32
固定資産除却損	38	32
設備撤去費	103	103
持分法による投資損失	—	485
雑損失	32	99
営業外費用合計	211	753
経常利益	8,090	4,971
特別利益		
投資有価証券売却益	73	—
保険差益	—	11
持分変動利益	—	88
負ののれん発生益	24	—
特別利益合計	97	99
特別損失		
固定資産圧縮損	1	9
災害による損失	—	51
特別損失合計	1	61
税金等調整前四半期純利益	8,186	5,009
法人税、住民税及び事業税	2,397	1,619
法人税等調整額	64	82
法人税等合計	2,462	1,702
四半期純利益	5,723	3,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	399	163
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,324	3,143



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	5,723	3,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	8
繰延ヘッジ損益	15	30
退職給付に係る調整額	44	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	69	△217
その他の包括利益合計	147	△185
四半期包括利益	5,871	3,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,447	2,953
非支配株主に係る四半期包括利益	423	167

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,670	9,791	947	52,409	—	52,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	60	20	113	△113	—
計	41,703	9,851	968	52,523	△113	52,409
セグメント利益	2,623	527	439	3,591	—	3,591

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,393	9,701	925	51,020	—	51,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	64	20	111	△111	—
計	40,419	9,765	946	51,131	△111	51,020
セグメント利益	793	370	457	1,621	—	1,621

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式取得による企業結合)

当社は2018年9月21日付でED&F Man Holdings Limitedと締結した株式譲渡契約に基づき、2018年10月2日にED&F Man Holdings Limitedの子会社であるSIS' 88 Pte Ltd (以下「SIS社」)の株式を取得し、SIS社を子会社としております。

#### 1. 企業結合の概要

##### (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 SIS' 88 Pte Ltd

事業の内容 精製糖販売事業

##### (2) 企業結合を行った主な理由

国内砂糖事業を取巻く環境は、少子高齢化の進展などを背景に厳しさを増しておりますが、当社は新たな成長基盤としてフードサイエンス事業の拡充と、成長著しいアジアマーケットを中心とする海外での事業機会創出を検討してまいりました。本案件はその成長戦略の具体的推進策の一つとなります。

##### (3) 企業結合日

2018年10月2日

##### (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

##### (5) 結合後企業の名称

結合後の企業の名称に変更はありません。

##### (6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	-%
企業結合日に取得した議決権比率	70.0%
取得後の議決権比率	70.0%

##### (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により議決権の70.0%を取得したことによるものです。

#### 2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	8,072百万円
取得原価		8,072百万円

(注) 上記の金額は取得時点の概算額であり、今後の価格調整等により最終的な取得原価は変動する可能性があります。

#### 3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 204百万円 (概算額)

#### 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

#### 5. 企業結合日に受け入れた資産及び受け入れた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。